みんなで守りたい。
未来をつなぐ、命の絆。

令和7年 気仙沼市東日本大震災

追悼と防災のつどい

献 奏

12:50～13:00

ヴァイオリニスト
小川 有紀子 氏
気仙沼ヴァイオリン倶楽部音楽監督
株式会社ハナミズキ音楽事務所
みなと気仙沼大使（R2.8.24～）

復興祈念公園での献奏を上映予定

令和7年3月11日（火）

時間 10:00～19:00（14:46 黙祷）

会場 気仙沼中央公民館
気仙沼市内の脇一丁目16番6号

追悼会場 10:00 ～ 19:00

どなたでも自由に献花を行えます

- 献花場は館内アリーナに献花台を設置し、どなたでも自由に献花を行えます
- 献花用の花は会場でお渡しします
- 供物・供花・香典などはご不要です

防災のつどい 13:00 ～ 16:00

震災伝承 × 防災活動の実践

参加申込不要　入場無料　定員300名

基調講演　13:15 ～ 14:15

「あの日とともに生き、
次なる巨大災害に備える」

東北大学災害科学国際研究所
栗山 進一 所長

【プロフィール】1987年東北大学理学部物理学科卒業、1993年大阪市立大学医学部医学科を卒業後、大阪市立大学医学部附属病院第３内科医師、民間企業医師、2003年東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野助手、2005年同講師、2006年同助教授、2010年東北大学大学院医学系研究科環境遺伝医学総合研究センター分子疫学分野教授を経て、2012年に東北大学災害科学国際研究所災害公衆衛生学分野教授に就任、現在に至る。

震災の取組発表　14:15 ～ 14:40

岩槻 佳桜 氏

【プロフィール】気仙沼市出身の大学生。５歳の時に東日本大震災を経験。当時の体験や震災の記憶をつないでいきたいとの想いから、中学２年生から気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館で語り部として活動。高校生の時には「気仙沼の高校生MY PROJECT AWARD」に参加し、「紙一枚を使って3.11の記憶を表現する」といった新たな伝承活動を考案。現在も語り部として活動しながら、自分の言葉で震災の記憶を伝えている。

トークセッション　15:00 ～ 16:00

モデレーター
佐藤 翔輔 准教授／東北大学災害科学国際研究所

スピーカー
栗山 進一 所長／東北大学災害科学国際研究所
尾形 順一 氏／鹿折地区自主防災組織本部
垣下 美紀 氏／防災士

防災関連展示 10:00 ～ 19:00

- 東北大学災害科学国際研究所の取組
- 令和６年度市津波総合防災訓練のドローン映像放映
- 市内企業や自主防災組織による取組展示
- 石川県能登町へのボランティア派遣の取組
- 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館の取組 ほか

各種行事に関するお問い合わせ

気仙沼市総務部危機管理課　防災安全係
0226-22-3402（直通）

詳細は気仙沼市ホームページからご覧ください
令和７年気仙沼市東日本大震災追悼と防災のつどい

YouTube ライブ配信
会場の様子はこちらからご覧になれます

主催 気仙沼市　後援 東北大学災害科学国際研究所

※ 本事業は、一般財団法人自治総合センターが行うシンポジウム助成事業を活用しています